

当社原子力発電所の耐震安全性評価のうち地震応答解析での入力データ誤り調査状況についての経過報告(速報)

1. 事象の経緯

- 平成23年7月 6日 ・国(原子力安全・保安院)より、玄海原子力発電所3号機耐震安全性評価のうち原子炉建屋及び原子炉補助建屋の地震応答解析で用いたモデルへ入力したデータに一部誤りの可能性があるとの連絡を受けた。
- 同日、原子炉建屋及び原子炉補助建屋の地震応答解析の入力データの確認作業に着手した。
- 平成23年7月13日 ・川内原子力発電所全号機と玄海原子力発電所の他号機の地震応答解析の入力データの確認作業に着手した。
- 平成23年7月21日 ・玄海原子力発電所3号機の地震応答解析に係る入力データの調査を終え、3箇所の入力データに誤りがあることを検出した。
- 平成23年7月22日 ・この結果を国(原子力安全・保安院)へ報告し、公表した。
- 同日、国(原子力安全・保安院)より、川内原子力発電所全号機と玄海原子力発電所の他号機について、解析データに誤りがないことの確認をするよう指示を受けた。
- 平成23年7月24日 ・入力データの確認作業を終え、玄海4号機の原子炉建屋の地震応答解析で用いたモデルにおいて、同様の入力データの誤りが1箇所あることを検出した。

2. 入力データ誤りの内容

玄海4号機原子炉建屋の地震応答解析に用いる入力データのうち質点重量について、電算機に入力された値が1箇所誤っていた。

3. 今後の耐震安全性評価

現在、玄海4号機の耐震安全性(バックチェック)については、国で評価を受けているところであり、速やかに、正しいデータを用いて解析・評価を再度行い、改めて国へ提出し評価を受けることとなります。

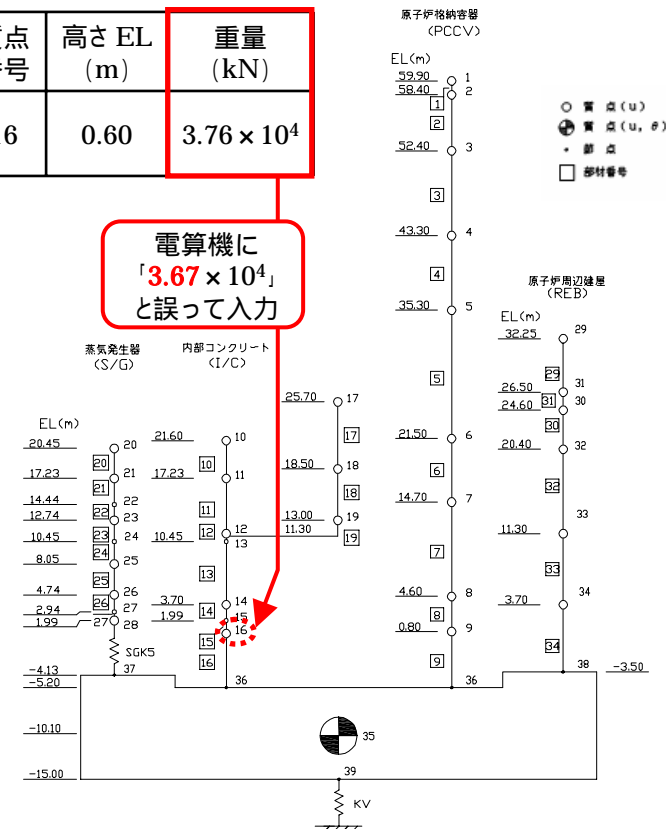
なお、今回検出した質点重量の誤差($0.09 \times 10^4 \text{kN}$)は、建屋全体重量($3.58 \times 10^6 \text{kN}$)に対して3/10,000程度で、また、建屋の揺れの大きさは下表のとおりです。

内部コンクリート(I/C)の最大応答加速度(鉛直方向)

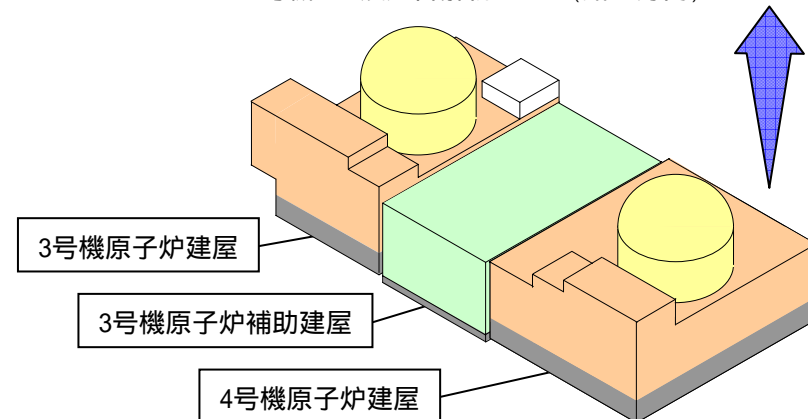
質点	誤ったデータによる値	正しいデータによる値
16	368	369
10	466	468

単位:ガル

部位	質点番号	高さ EL (m)	重量 (kN)
内部コンクリート	16	0.60	3.76×10^4



4号機 地震応答解析モデル(鉛直方向)



玄海原子力発電所3,4号機 概観図